

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	曲面状 π 共役分子の新しい有機化学と材料科学
研究代表者	山子 茂（京都大学・化学研究所・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>応募者はシクロパラフェニレンの短工程で効率的な独創的合成法を開発し、この合成法を用いてシクロパラフェニレンの市販化の道を拓いた。本研究はシクロパラフェニレンを拡張し、カーボンナノチューブやフラーレン系化合物の新しい合成を目指す研究である。応募者は当該分野で世界をリードする研究者の一人であり、本研究の進展で、基礎化学を基盤に新しい材料分子を創製できる可能性がある。このように、本研究は材料科学への進展も期待され、さらに、π 共役分子内の電荷移動や励起エネルギー伝播機構の解明につながる可能性もある。我が国が世界に誇る研究になると期待され、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>